

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年8月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「貴重な時間を割いて書きました」

及川 響

YMCAを卒業して早4年、「そりゃYMCAニュースの巻頭言を書くような歳にもなるわな…」と実感しています。

僕は、ベストキッズ・ジュニアユースでキャプテンを務めていた、只今18歳（浪人中）のサッカー小僧です。そんな僕は、いつサッカーに出会ったのか、実はよく覚えていないのです。物心ついた時には、当たり前のようにサッカースクールに通うようになったように思っていました。しかし、母親に聞いてみたところ、僕は、「初めはみんなの中に入っていけなくて、めそめそ泣いていた子どもだった」そうです。

知る人ぞ知る超人見知りな子どもだった僕を、いろいろな方法でみんなの輪の中に上手に入れてくれたのが、優しいリーダー達でした。そこから僕のサッカー中心の生活が始まりました。毎週土曜日になると、僕は兄と先を争ってサッカーの準備を始めました。何を着るから始まり、試合でお互い何点取れるか等等、常に兄をライバル視しながら楽しんでいました。褒め上手なリーダー達のおかげでどンドンうまくなっている気がしたし、実際にもううまくなっていったのだと思います。

さらにうまくなりたくて、小学2年生の時にベストキッズに入りました。同じ志を持った仲間たちとサッカーをするのは、スクールとはまた違った楽しさがありました。当時は「言われたとおりにやりなさいサッカー」が主流だったように思いますが、ベストキッズでのサッカーは「自分たちで考えるサッカー」でした。試合が終わるたびに反省会をさせてもらい、それを見守っていた真太郎がその後にアドバイスをくれました。練習中も試合中も、一生懸命やったプレーに対しては、たとえミスしたとしても、ダメ出しは一度もされなかったと思います。それが、中学・高校でのサッカーにとっても役立ちました。また、試合の度に駆けつけてくれるリーダー達の明るい応援は最高でした。

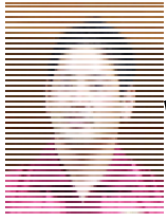
ああ、なんだか書いているうちにまたあの頃のサッカーがしたくなってきたなあ…本当に楽しかった…！

大学に合格したらまた思いっきりサッカーするぞ！僕の活躍に乞うご期待！以上！



サッカー・水泳、I期終了！

サッカー・水泳教室がI期終了を迎え、夏休みに入りました。各プログラムの担当者より、I期終了に寄せてのコメントが届いています。II期からもさらにバフフルな活動ができるよう、スタッフ一同尽力してまいります！



みなさんこんにちは。土淵サッカー学校・向中野サッカー学校・篠木サッカー学校、そして火曜水泳教室・水曜小学生水泳教室を担当しております、伊藤真太郎です。

I期を振り返ると、サッカー学校では主にドリブルを中心にトレーニングしました。サッカーを楽しむために大切なことは、まず、ストレスなくボールを両足で扱えることです。楽しい雰囲気の中で子どもたち一人一人がボールを触る機会を多く持てるよう工夫し、毎週トレーニングを積み重ねてきました。その結果、4月の時から比べるとみんなそれぞれとっても上達してきています。II期では、その成長が子どもたちの自信によりつながればと思います。また、サッカー以外では、メリハリと協力を子どもたちに伝えてきました。どのサッカー学校でも子どもたち自身でよりよくなるようにみんなで協力し、メリハリを持って時間を大切にしています。II期でも引き続きメリハリと協力を子どもたちに伝えていき、子どもたちと共に毎週元気に、明るく、自分を大切に仲間を大切に楽しんでいきたいと思っています。

水泳教室では、子どもたちがストレスを感じることなく、楽しみながら泳力が向上するよう一人ひとりの子どもたちとしっかりと向き合い焦らず、毎週楽しく進めてきました。また、泳ぎが得意な子、泳ぎが苦手な子、どんな子どもたちにとっても毎週の水泳教室が楽しみなものとなるよう工夫してきました。それぞれのレベルにあったクラスに分かれレッスンは行われていますが、どのクラスでも笑顔があふれています。そして、水泳は個人競技ですので、なかなか同じクラスのお友達を意識することは難しいですが、I期を終えてみるとどのクラスも、子どもたち同士の中は深まっています。II期では、ワッペンテストも行われますが、子どもたちにとって毎週1回の水泳教室がかけがえのない時間となり、子どもたちの自信につながるようなものになればと願っております。また、サッカー同様、自分と仲間を大切にすることがとっても素敵なことだと子どもたち自身が気づけるような、そんな時間になるよう、毎週子どもたちと共に楽しんでいきたいと思っています。

ディレクター 伊藤真太郎



サッカー学校の中が暑くなりました！暑い中がんばりました！



ゴールの前で、ボールがきまっています！



水泳教室では、子どもたちのレベルに合わせて、クラスごと楽しくレッスンを進めています！



本町サッカー学校は盛岡YMCAのサッカー学校で一番、数多くの小学校の子が集まっている学校です。今期も通っている小学校が違う子達が沢山集い、毎回元気いっぱいサッカーボールを追いかけました。また、唯一幼稚園のスクールも行っており、個性豊かな幼稚園の子どもたちと毎回笑いにつつまれながらの時間を過ごしました。

盛南サッカー学校は今期も元気一杯！！スクールがはじまるまでの時間は、木登りをしたり、ちょっとした原っぱの丘を転がり落ちてみたりと、サッカー以外にもバフフルでやんちゃなスクールです。もちろんサッカーになれば、皆で騒ぎながらも真剣に頑張っていました☆

ディレクター 小川嘉文



→盛南サッカー学校前の木登りタイム！



→本町サッカー学校より。小さな子どもたちも頑張っています！



盛北スクールは12名という少ない人数ではありますが、ネガティブな声ではなくポジティブな声をみんなで増やして行こうと活動してきました。失敗をしてしまったときには「ドンマイ」「次頑張ろう」などの声、チームの仲間が頑張った時には「ナイス」「サンキュー」などの声が、年度当初に比べると、子どもたち自身から発信されるようになってきました。II期以降も継続して、どのように声をかけたりプレーをしたら、参加している全員が明るく楽しい時間を過ごせるのかを、子どもたちと一緒に考えて、有意義な時間を過ごす中で、仲間の大切さや思いやりの心を養っていききたいと思います。

ディレクター 浅沼慧



→サッカー学校では、準備・片付けもみんなでいきます！



子どもたちみんな協力してがんばっています！





2015年の松園サッカースクールは、新たに1年生と2年生が入会し、元気な子ども達12名でスタートいたしました。松園サッカースクールは育成コース（ベストキッズ）に所属している子どもも多く、サッカーが上手な6年生に憧れてかっこいいドリブルをまねする低学年の姿や、そんな低学年の面倒をみる高学年の姿がよく見られ、学年関係なくとても仲の良いメンバーです。

Ⅱ期からは活動場所を高松公園に移し、「高松サッカースクール」として新たにスタートします。場所や名称が変わっても仲の良さは変わらず、サッカーを通して仲間を大切にできる場所としてこれからも活動していきます！

ディレクター 東森聡



いつも仲の良い松園サッカースクールのメンバーたち。リーダーを交えての練習もとても盛り上がりです！



メンバーみんなでグラウンドにごろん！こんなにリラックスした瞬間もあります。



月・金水泳教室では、友達やリーダーと会うの楽しみに来る子どもが多く、仲良く元気に練習しています。今後も、更にメンバーの仲を深め、毎週の水泳を楽しみに参加してくれるようにしてゆきます。また、友達と会える楽しみに加え、水泳が上達する楽しさも、もっと感じてもらえるように工夫して行きたいと考えています。

また、話を聞く態度など、できている子とそうでない子の差が大きくなってきています。しっかりやっている子どもの姿を沢山見つけ、伸ばしていきたいと思えます。

ディレクター 尾形裕一郎

→ほっとやすらぎジャグジータイムも、水泳教室の楽しみのひとつです。



→大学生のリーダーも訪れ、賑やかに楽しく練習を行っています。



→リーダーと一緒に、水に親しみ、技術を上らせてゆきます。



幼児水泳コースでは現在11名の子どもたちが毎週元気に通っています。水に慣れる段階の子からクロールの練習に取り組んでいる子までいます。初めはたいがい顔に水がかかるだけで大慌てしていた子どもたちでしたが、水につかって遊んでいくうちに息の止め方を覚え、水に潜ることの楽しさを知り、泳げるようになってきて向上心が芽生え、自信をつけてきました。子どもたちの上達スピードは各々ですが、どの子にも急にコツをつかむ瞬間があります。水に対する恐怖や不安を、楽しさや喜びに変えていける活動です。

ディレクター 家村知佳

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 7月報告書

1. 宮古小学校サッカー教室 I期終了！

毎週火曜日に宮古小学校の校庭をお借りして開催しているサッカー教室も、I期終了を迎えました。夏休みが明けた頃に、また一段とたくましくなった子どもたちに出会えることを楽しみにしています。



2. 湘南とつかYMCAとの花プロジェクト

湘南とつかYMCAのご協力を頂き、今年も「花プロジェクト」を行いました。スタッフとボランティアが力を合わせ、お花を仮設住宅に届けました。皆さんに喜んでいただける活動となりました！



3. 定例野外活動にて、区界へ！



7月5日に、毎月定例の野外活動が行われました。今回は、宮古湾にそそぐ「閉伊川（へいがわ）」の水源をめざし、区界の山を探検しました。普段なかなか目に触れることのない源流や、シナノキの大木に触れ、子どもたちのまなざしも輝いていました。

4. 魚菜市场「夏の味覚祭り」出店



7月26日に行われた、魚菜市场の「夏の味覚祭り」にYMCAとして出店いたしました。

もりおかワイズメンズクラブの皆さん、地元の高校生の皆さん、盛岡の大学生の皆さんにご協力いただき、お好み焼きを販売いたしました。

この活動の益金は、ネパール大地震の復興支援のために役立てられます。

8月は、宮古の子どもたちと田沢湖へキャンプに行きます。現在、宮古ボランティアセンターは準備のため大わらわです。子どもたちとリーダー・スタッフのみんなで、暑い夏をつくりましょう！

8月の予定

- ★8月1日(土)～4日(火)
サッカーキャンプ
(於：いこいの村岩手)
- ★8月4日(火)～6日(木)
田沢湖おもいっきりサマーキャンプ
(宮古市の子ども対象
於：思い出の潟分校)
- ★8月6日(木)～7日(金)
タイムスリップキャンプ
(於：御所野縄文公園)
- ★8月8日(土)～9日(日)
森の大自然満喫キャンプ
(於：外山森林公園)
- ★8月8日(土)～12日(水)
津軽石小学校短期水泳教室
(於：津軽石小学校)
- ★8月10日(月)～12日(水)
田沢湖わくわくキャンプ
(於：思い出の潟分校)
- ★8月13日(木)～16日(日)
盛岡YMCA休館
- ★8月18日(火)
火曜水泳Ⅱ期開講
- ★8月19日(水)
水曜水泳Ⅱ期開講
盛南スクールⅡ期開講
- ★8月20日(木)
高松スクールⅡ期開講
向中野スクールⅡ期開講
- ★8月21日(金)
金曜水泳Ⅱ期開講
盛北スクールⅡ期開講
- ★8月22日(土)
本町スクールⅡ期開講
森のようちえん
「水あそびをしよう♪
びしょぬれキッズ☆」
(於：つどいの森)
- ★8月18日(火)
アドベンチャークラブ
「中津川で遊んじゃおう♪」
(於：中津川)

表紙の写真から



今回の巻頭言を書いた及川響君が、小学生だった頃のサッカーキャンプの写真です。この頃にキャンプが行われていたのは陸前高田でした。バックに、現在の一本松も見えます



君でいいんだよ ～JUST THE WAY "YOU" ARE⑭～

「ちょっとちがう」

わたしは みんなと ちょっとちがう
ちよっと しっぽが みじかいし
ちよっと ひげが ながい
でも ママが
「それでいいのよ」 っていってたの



朝日新聞が、7月19日、7月23日と2度に渡ってこの詩を紹介している。以下その記事から。

* * *

沙清(さきよ)さんが東京都調布市立小4年生の時に書いた詩だ。乳製品に重いアレルギーを持っていた沙清さんは、この詩を書いた1年後の2012年の12月、給食後にアレルギーショックで亡くなった。将来の夢は、科学者になってアレ

ルギーの子どもを助けるのが夢だったそう

だ。
クラスの中で、周りの子が「あの子嫌だよ」と言ってきたりもあつた。悪口を言った子のことも気遣い、「そうかなあ」とだけ言った。人はみんな、「ちよっとだけ違う」ことを沙清ちゃんはよく知っていた。

* * *

長い年月生きていた私たち大人は、果たして「違い」を乗り越えられているのだろうか？

「はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、けっしてそこに入ることはできない。」(マルコによる福音書10章15節)

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

新スタッフ紹介☆その3！

新スタッフ紹介、3人目はゴリナリーダーです！

ゴリナリーダーは、向中野の学童・野外活動・水泳教室と幅広く活躍しています。



- ①名前：武田 悠
(たけだ はるか)
- ②リーダー名：ゴリナ
- ③出身：宮城県仙台市
- ④みなさんへ：

私は、昨年度までリーダーとして、キャンプやサッカー・水泳などなど、たくさんの活動に参加していました。今年一年は向中野学童で、スタッフとしてたくさんの子どもたちやリーダーたちと関わっていけるのを楽しみにしています。

自己紹介を簡単に申し上げます。誕生日は1992年12月22日！好きなことはスポーツ！また、ギターを弾いたり、みんなで歌ったり踊ったりするのもとても大好きです。中でも、小さい頃から、キャンプに行くことがとても好きで、毎年夏は2回以上キャンプに行くほどです。

今年もたくさんの仲間とキャンプに行くことができるので、とても楽しみにしています！

こんな私ですが、どうぞよろしく願いいたします！



感謝

(2015年度7月31日現在)
順不同・敬称略

●維持会費

木田泰之、光永尚生、今野聖子、今野健男、佐藤翔、川坂保宏、鶴丹谷三千代、熊谷圭祐、滝川佐枝子、北田アユ子、押切梓、名古屋恒彦、越前谷洋子、戸真文、伊藤克見、魚住英昭、花田隆、水谷史門、廣川健太郎、廣川厚子、廣川はるな、森山日菜乃、森山幹大、遠藤昌樹、小山憲彦、原寛、大関晴一、村上修二、菊地弘生(株興和電設)、伊藤真一、伊藤みどり、清水弘一、井上優二、井上浩太郎、田村治之、角谷晋次、杉田弘美、桑原良幸、伊藤真太郎、伊藤愛美、小林茂元、小畑孝子、千葉洋子、山崎詩織、川守田浩、高瀬裕盛、盛岡ヤベル、重石桂司、人見見弘、神田橋恵一、家村知佳、長岡和義、早坂春希、池田二郎、増田隆、吉井啓亮、原真澄、武内祐輔、松木和也、藤野陽平、長岡正彦、斎藤恒夫

●寄附金

佐藤翔、鶴丹谷三千代、熊谷圭祐、伊藤克見、花田隆、遠藤昌樹、小山憲彦、原寛、伊藤真一、清水弘一、角谷晋次、杉田弘美、山崎詩織、高瀬裕盛、人見見弘、早坂春希、池田二郎、増田隆、中原真澄

●東日本大震災被災地支援募金 献品

名古屋フーズクラブ、沖縄那覇ワイズメンズクラブ、京都トップスワイズメンズクラブ、京都東稜ワイズメンズクラブ、京都エイブルクラブ、京都キャピタルクラブ、四日市ワイズメンズクラブ、名古屋ワイズメンズクラブ、南山ワイズメンズクラブ、東海ワイズメンズクラブ、名古屋クラブ、宇都宮東ワイズメンズクラブ、宇都宮ワイズメンズクラブ、和歌山紀の川クラブ、横浜ワイズメンズクラブ、清水弘一、日本基督教団内丸教会、鹿児島ワイズメンズクラブ、鹿児島YMCA、熊本むさしワイズメンズクラブ、ワイズメンズクラブ、国際協賛東日本区、岩国みなみワイズメンズクラブ、京都ウイングクラブ、廣瀬一雄、広島ワイズメンズクラブ、ワイズメンズクラブ東日本区、ワイズメンズクラブ西日本区、鎌倉ワイズメンズクラブ、大阪YMCAインターナショナルス・マフイー

●国際協力募金(ネパール)地震被災地支援

日本基督教団内丸教会、川守田浩、鶴丹谷三千代、盛岡チャペル、増田隆、(有)熊安旅館、杉田弘美、神田橋恵一、名古屋恒彦、鬼柳忠彦、熊谷亜希子、大関晴一、滝川佐枝子、遠藤昌樹、伊藤克見、女鹿乃々花、中村恵美子、伊藤真一、高橋亜也子、重石桂司、早坂春希、フジクリン岩手(株)、濱塚有史、菅原省司、山崎梓子

